



社協だより

～あの人の幸せを 私の幸せに～

共同募金配分金で作成しています



城陽市社協HP



城陽市社協MAP

発行
社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/

令和2年夏発行
第132号

ご協力ありがとうございました

昨年度より地域のみなさまに加え、より多くの方に社協会員になっていただくべく、社協会員の見直しを行い、新たに「団体・法人会員」を設定いたしました。その結果、たくさんの企業様や団体様、法人様にご加入いただきました。昨年度、加入いただきました団体法人会員様をご紹介します。今年度も引き続きご協力いただきますようお願いいたしますとともに、新たな団体・法人様のご協力もお願いいたします。

(敬称略・順不同)

特別会員 10,000円/口

岡田診療所(3口)
与楽
弘明歯科医院
米善

cocomo.cube
城陽商工会議所
堀井建設
磊石

坂本工建
中山歯科医院
山口美洗サービス

白枝眼科
沼眼科
ユニック



賛助会員 5,000円/口

樹ハウジング
オクダモーターサイクル
京南通信工業
小玉眼科医院
城陽市公認上下水道協同組合
杜若園芸
ハタナカ事務用品
明正化工
ロッド通信工業

井上一千堂
オニキス城陽店アネックス
クリーニング栄光舎
小西歯科医院
大円
なかむら眼科クリニック
原口クッキングスタジオ
もりた園

宇治久世医師会
関西畳工業
京滋エージェンシー
城南工建
高田住建
日本郵便城陽郵便局
フロンティア京田辺営業所
山吉漆紙工業

オオタムセン
京都八百忠
コクラ医院
城洋園
竹口電気設備管理事務所
旅籠屋 利兵衛
芳香園
山福油化



社協活動・福祉活動の貴重な財源としてご支援いただき、ありがとうございます。

社会福祉協議会は社会福祉法で定められた地域福祉を推進する組織であり、地域のみなさまに会員となっただき、その会費を自主財源として、「法人運営費」「市補助事業」「委託事業」「共同募金配分事業」「善意銀行基金・ボランティア基金事業」「在宅福祉事業」を展開するための基礎として活用しています(詳しくは2・3ページをご覧ください)。しかし、会費だけでは事業を実施することができないため、本会の介護保険事業等の収入の一部で補ってききましたが、現在は厳しい状況です。

本会としても、地域福祉活動をより発展できるよう邁進していきます。誰もが住みやすく、「あの人の幸せを 私の幸せに」と思える地域になるよう、今後とも市民のみなさま、団体・法人のみなさまのご協力をお願いいたします。

種類	金額(年間)
特別会員	3,000円/口
賛助会員	1,000円/口
普通会員	500円/口

種類	金額(年間)
特別会員	10,000円/口
賛助会員	5,000円/口

ご協力をお願いいたします



2019年度 事業報告・決算

本会では平成30年度から実施の「地域福祉活動計画V」に基づき、鋭意取り組みを進めてきました。
【 】内は2019年度実績

支出項目別事業報告

法人運営費

- 定例理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会
- 第14回児童・生徒の福祉作文コンクール
- 地域ひとつなぎ事業(高齢者の訪問・見守り体制づくりへの助成)【6団体】
- 地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業(みんなで協力し地域を支える仕組みづくり)【住民の集まりの場への参加が難しい方への介護タクシーを利用した参加支援】
- 災害ボランティアセンター推進協議会 研修・訓練【市総合防災訓練への参加と災害ボランティアセンターの開設訓練】
- 職員研修、事務局職員の設置費用等

市補助事業

- 福祉バスふれあい号運行【171件、2,028人】
- 校区敬老会【10校区、4,137人出席】
- 校区社協の運営・事業の助成
地域で健康料理教室【9校区57回】
介護・障がい・子ども等交流【8校区42回】
いろんなふれあいサロン【10校区198回】
孤立防止の見守り活動【7校区190回】
委員・ボランティア研修【9校区21回】
福祉課題アンケート等調査【4校区7回】
一緒に地域を考える懇談会【9校区13回】
困りごとお助け活動【2校区】
広報活動助成【9校区35回】
その他、校区社協の運営・拠点設置助成
- 校区社協会長会議、福祉教育推進交流会、地域福祉リーダー研修会、役職員研修
- 校区別地域福祉活動推進計画の策定支援
- 地域福祉活動計画Vの進捗状況確認と課題把握

委託事業(市・府社協)

- 福祉センター維持管理【3,810件、67,564人】
- 声の広報じょうよう【のべ479人】、声・点字の市議会だより【のべ72人】
- 紙オムツ宅配(さわやか宅配便)【20人】
- 生活支援コーディネーター配置(地域住民の助けあい活動を広げる体制づくりのため)
- 生活福祉資金貸付等事業【貸付19件】
- 福祉サービス利用援助事業【契約者45人】

共同募金配分事業 (赤い羽根・歳末たすけあい)

- 第41回城陽市社会福祉大会
- 社協だより、声・点字の社協だより発行
- 福祉協力校指定・助成【15校(全小・中学校)】
- 一人親家庭新入学児童の激励【20人】
- 校区社協前期活動助成【10校区】
- 地域掲示板整備事業助成【新規・修繕計11基】
- 在宅要介護者への激励金【286人】
- 青少年福祉活動修学旅行援助【11人】
- 校区社協後期活動助成【10校区】
- その他福祉活動助成【社会福祉団体16団体、29自治会、公募10団体】

善意銀行基金・ボランティア(以下「V」)基金事業

- 善意銀行助成
- Vグループ・連絡協議会への助成、Vルーム等の維持管理、Vニュースの発行、Vグループ活動支援
- Vフェスティバル【参加者260人】、V講座【2回】
- V保険料補助【982人】
- V基金運営委員会
- 第29回福祉ふれあいまつり実行委員会へ助成
- 福祉協力校事業へ助成【15校(全小中学校)】

在宅福祉事業



- 住民参加型相互援助サービス…公的な福祉制度の対象外世帯への住民同士の支援活動【利用会員8人、協力会員4人、支援175回】
- お待たせごはんですよ…高齢者等への配食【利用会員93人、配食数16,142食】※令和元年度末で本事業は終了しています。

老人福祉センター事業



- 各苑でサークル活動やレクリエーション、健康相談等を実施 ※令和2年3月6日から全苑休苑

	利用者		利用者
陽寿苑	53,230人	陽東苑	10,914人
陽和苑	33,293人	陽幸苑	21,290人

介護保険関係事業



- 訪問介護等

	年間派遣時間数
訪問介護	8,049時間
介護予防訪問介護・総合	6,614時間
訪問介護(障がい者)	5,913時間
移動支援	119時間

- 居宅介護支援【介護給付作成1,525件、予防給付作成692件】
- ほのぼのサービス…要介護・要支援者に対し、介護保険対象外のサービスを実施
- 地域ふれあいセンター管理・貸室 ※施設老朽化に伴い地域交流室の一般貸出は中止しています。
- 通所介護…自立支援を強化。手作業やリハビリ、体操や外出など実施【実施日数307日、実利用者数967人、利用延人数7,301人、1日平均利用者数23.8人】

地域包括支援事業

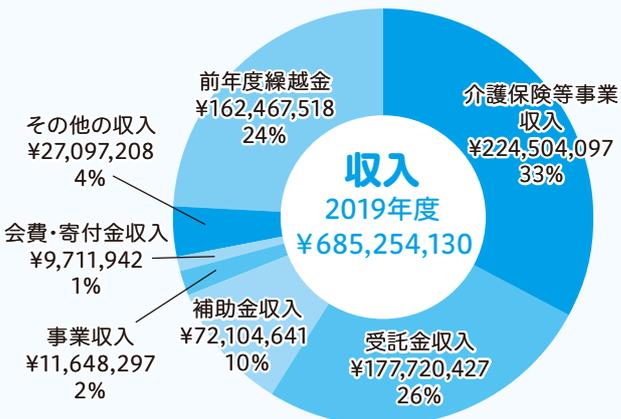


(以下、中部包括…中部、西部包括…西部)

- 介護予防…対象者が介護予防サービスや総合事業を利用する際の介護予防プランの策定【中部6,764件、西部2,647件、委託2,661件】
- 総合相談…専門職の連携により高齢者とその家族の相談対応【のべ 中部1,094人、西部523人】
- 権利擁護…成年後見制度利用への支援、虐待事例への対応
- 地域ケア会議【中部18回、西部5回】
- 地域住民へ出前講座などの広報・啓発活動
- 介護予防教室、ゴリゴリ元気体操、家族介護者教室
- 主任介護支援専門員会議、医療と介護の連携検討会
- 認知症初期集中支援チーム設置【相談数24人】
- 認知症リンクワーカー(認知症の人やその家族の不安に寄り添い、必要な支援を行う担当者)設置検討
- 認知症の人やその家族を支援する相談業務【相談件数84件】
- 認知症ケアパス(認知症の状態に応じて認知症の人やその家族がいつ・どこで・どのようなサービスを受ければよいか)の普及・啓発
- 認知症サポーター養成講座、出前講座、若年性認知症に関する啓発、認知症サポーターへのステップアップ研修
- みんなのカフェ(認知症の方やその家族等が集える場)一覧表作成・意見交換会
- 認知症当事者ミーティング(認知症当事者やその家族との意見交換の場)【協力:京都認知症総合センターカフェほうおう、トヨタカローラ京都】

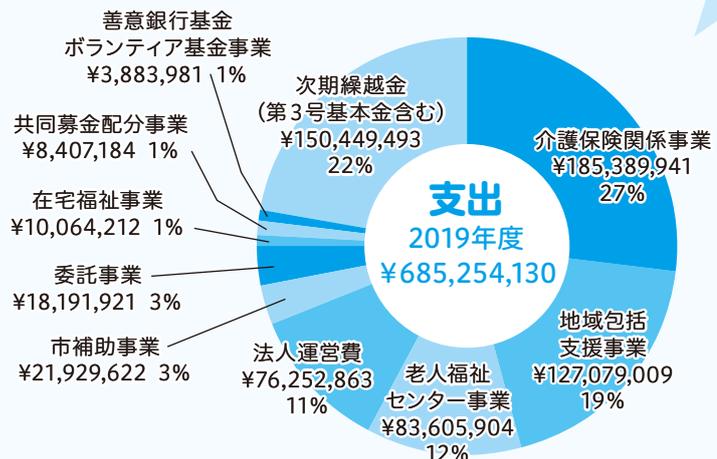
収入

2019年度
¥685,254,130



支出

2019年度
¥685,254,130



令和2年度 事業計画・予算

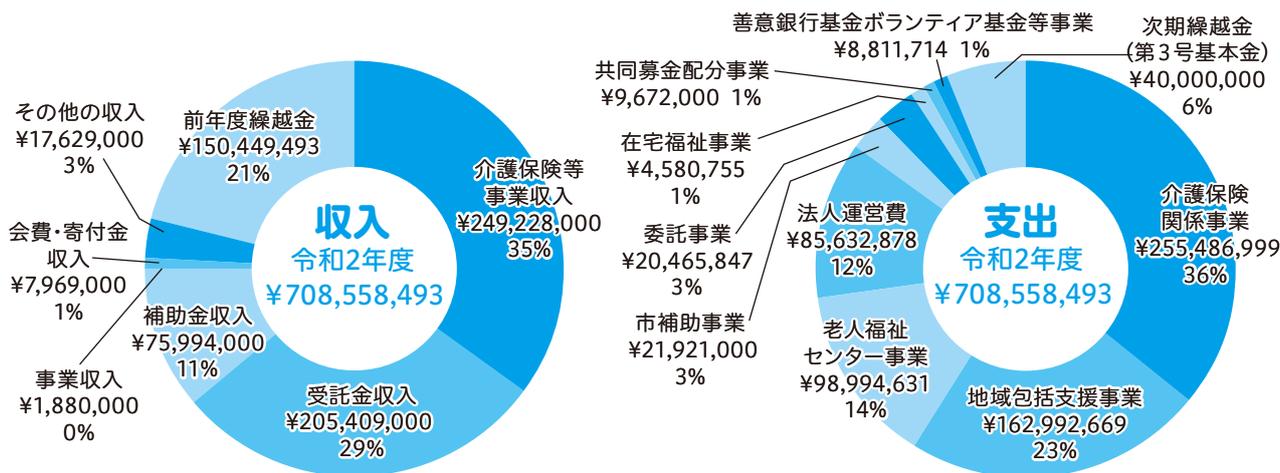
「地域福祉活動計画V」の基本目標と実施計画をもとに、城陽市の地域福祉推進を目指し事業を行います。今年度はその活動計画の3年目として、活動計画がさらに地域に広がることを目指しつつ、必要に応じて見直しを行います。そして、市社協として掲げた各部門別重点事業と連動させながら具体的事業を進めていきます。

基本理念

「あの人の幸せを 私の幸せに」

お互いさまをつないで 広げる ^{まち}地域の福祉

- 身近な地域のつながりを強めるネットワークづくり(つながる)
- 地域福祉活動を集めて進める活動拠点づくり(あつまる)
- 何でも話せる地域の窓口づくり(はなせる)
- 暮らしを支える仕組みづくり(ささえる)
- 一人ひとりの思いを叶える仲間づくり(かなえる)
- いつも頼りにされる組織づくり(たよれる)



2019年度 校区別 社協会員数 報告

	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷	合計	
個人	普通	1,321	883	1,453	912	873	972	1,868	1,363	1,344	852	11,751
	賛助	86	33	88	200	27	10	24	20	27	27	542
	特別	1	2	7	10	5	0	2	5	3	0	35
法人団体	賛助	2	0	3	1	2	5	1	0	7	2	23
	特別	3	0	0	1	0	1	3	0	2	0	10
会員合計	1,323	918	1,551	1,124	907	988	1,898	1,388	1,383	881	12,361	
寄付金	46,150	19,450	32,250	3,871	37,726	16,050	28,820	23,750	27,660	71,650	307,377	

*上記以外にも市内社会福祉施設(23施設)より、計169,960円の施設会費を頂いています。

*普通会員:1口500円 賛助会員:1口1,000円 特別会員:1口3,000円 (単位:口数)

*500円未満の篤志については、寄付金とさせていただきます。(単位:円)

*総額:7,044,877円

*城陽市社会福祉協議会にご入会いただき、ありがとうございました。また、会員募集にあたりご協力をいただいた各自治会・校区社会福祉協議会関係者の方々、ありがとうございました。

福祉サービス利用援助事業

こんなことで困っていませんか？

料金の支払いできている？



通帳、印鑑どこにしまったかな？



書類がよくわからない…



話を聞いてみたいけど
どうしたらいいの？

どういう人が
支援を
受けられるの？



まずは、城陽市社会福祉協議会にご相談ください。

どんな人が
支援して
もらえるの？

判断能力に不安のある方、
物忘れや認知症の高齢の方、
知的・精神の障害をもった方など
ただし、本人にこの事業の利用意思があり、
事業の内容をある程度理解できる方

何をして
もらえるの？

自宅に届く書類の整理をします。
請求書などの支払いのお手伝いをします。
日常の生活費の金銭管理のアドバイスをします。
希望されれば、銀行での払い出しのお手伝いをします。
ご本人の希望に沿った支援をします。



お問い合わせ 城陽市社会福祉協議会 TEL 0774(56)0909

ボランティア保険・行事保険

市社協では、安心してボランティア活動や福祉行事をしていただくために、保険の窓口業務も行っています。

ボランティア保険とは...?

ボランティア活動中

- 1 事故により本人が死亡もしくはケガをした
- 2 他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合を補償する保険です。

- ▼ 期間 4月1日～翌年3月31日(期間途中の加入は、保険料振込みの翌日から)
- ▼ 保険料 250円～/1人
補償内容により保険料は異なります



福祉行事保険とは...?

国内にて、福祉活動やボランティア活動、市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事参加中に、

- 1 行事参加者が偶然な事故でケガをした場合の障害補償
- 2 行事主催者が行事参加者など他人の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償

- ▼ 保険料 30円～/1人
行事内容により保険料は異なります

城陽市共同募金会の義援金情報

●平成28年熊本地震義援金

募集期間:H28.4.15～R2.3.31(受付終了)
R2.3.31現在 合計額 3,236,260円

●平成30年7月豪雨災害義援金

募集期間:H30.7.11～R2.6.30
R2.5.31現在 合計額 1,096,404円

●平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

募集期間:H30.9.12～R2.3.31(受付終了)
R2.3.31現在 合計額 114,900円

城陽市共同募金会では、上記義援金を福祉センター1階の窓口で受付しており、老人福祉センターや市役所でも一部の募金箱を設置しています。ご寄付いただいた義援金はその全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。ご協力をお願いいたします。

ボランティア登録受付中

市社協では、ボランティア活動にご協力いただける方に、年度を単位として(当該年度の4月1日～翌年3月31日)登録を受付ています



災害ボランティア

城陽市内外で災害が発生し、がれきの撤去や泥かき、片付けなど、復旧活動支援の依頼があった際にご協力いただける方

ボランティア連絡協議会(以下:V連協)

登録団体・個人で城陽市の福祉ボランティア活動の推進を図る団体で、V連協が実施・参加する活動へご協力いただける方(講演会や研修会のご案内もあります)

小地域福祉活動

各校区社協(小学校単位で組織されている福祉活動団体)での高齢者料理教室や安否確認等の地域における福祉活動にご協力いただける方

12月末までに登録された方には、安心して活動いただくために、左記項目“ボランティア保険”の保険料を一部助成しています。



無料貸出備品のご紹介

本会では、レクリエーション物品やご寄付いただいた車いす等の貸し出しをしています。

地域での季節のイベント、急に車いすが必要になったときなど、ぜひ、ご活用ください。(下の写真は一例です。)

- 物品貸出可能期間:必要と思われる期間
- 車いす貸出可能期間:最長2か月
- 申請時に必要なもの:印鑑

※貸出している場合がありますので、事前にお問い合わせください。



車いす



ニチレクボール



ディスコン

本会へのご寄付ありがとうございました

- 河野 直樹・弘子 車いす1台
- 城陽シニアバレーボールクラブ 12,000円
- (株)ケーエスケー 車いす3台
- 高橋 正則 30,000円

(R2.2.1～5.31現在)【敬称略】

ご寄付いただきました車いすは市民の方への無料貸出しや福祉教育に活用させていただきます。寄付金につきましては地域福祉活動の推進に活用させていただきます。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

